

## 〔静岡県土地家屋調査士会研修規則〕

平成15年11月29日	制定，平成16年	4月	1日	施行
平成19年12月8日	改正，施行			
平成21年12月5日	改正，施行			
平成22年3月6日	改正，平成22年	4月	1日	施行
平成23年3月11日	改正，施行			
平成24年3月10日	改正，施行			
平成26年6月14日	改正，施行			
平成31年3月9日	改正，施行			
令和3年4月17日	改正，施行			

## 〔静岡県土地家屋調査士会研修実施要領〕

平成15年11月29日	制定，平成16年	4月	1日	施行
平成21年12月5日	改正，施行			
平成23年3月11日	改正，施行			
令和元年9月28日	改正，施行			

# 静岡県土地家屋調査士会研修規則

## 第1章 総 則

(目 的)

**第1条** この規則は、静岡県土地家屋調査士会（以下「本会」という。）が、静岡県土地家屋調査士会会員（以下「会員」という。）等の資質の向上並びに業務の改善進歩を図るために行う研修事業を、体系的かつ効果的に実施するために必要な事項を定める。

(研修の内容)

**第2条** 本会は、前条の目的を達するため、次の事項に関する研修（以下「本研修」という。）を行う。

- (1) 土地家屋調査士業務及び関連業務に関する事項
- (2) 会員事務所の経営及び執務改善に関する事項
- (3) 職業倫理及び土地家屋調査士制度に関する事項

(研修の実施)

**第3条** 本研修は、単位制により実施する。

- 2 単位制の実施について必要な事項は、理事会の承認を得て別に定める。
- 3 本研修は土地家屋調査士専門職能継続学習（以下「土地家屋調査士CPD」という。）の運用基準に沿って実施する。

(研修の種類)

**第4条** 本研修の種類は、下記のとおりとする。

- (1) 会員研修（一般研修・特別研修・支部研修）
- (2) 新人研修（入会時研修・日本土地家屋調査士会連合会新人研修・本会新人研修）
- (3) 年次研修
- (4) 役員等研修（役員・支部会員指導委員等研修）
- (5) 補助者研修

- 2 前事項の研修の実施に必要な事項は理事会が別に定める。

(運営機関)

**第5条** この規則に基づく研修の実施機関は本会とし、その運営は、研修の種類により別に定めのあるものを除き、本会研修部が担当して行う。

- 2 研修部は、各支部の研修を担当する会員指導委員と支部研修担当者会議を開催して、各支部における研修事業との調整を図る。

(講 師)

**第6条** 各研修の講師及びその謝礼金は、研修の種類、内容、日程等に応じ、理事会の承認を得て別に定める。

(研修費用)

**第7条** 本会が実施機関として行う研修に要する費用は、この規則に特に定めのあるものを除き本会が支出する。

- 2 本会は、支部が行う研修事業に対し、理事会の承認を得て助成金を交付することができる。

## 第2章 会 員 研 修

(一般研修)

**第8条** 会員を対象に、土地家屋調査士（以下「調査士」という。）として必要な知識、技能等を修得するため、調査士の業務及び制度、関係法令、その他一般教養等に関して実施する。

- 2 一般研修のうち特に必要と認めるものは、会長が必修研修とすることができる。

(特別研修)

**第9条** 受講希望会員を対象に、調査士業務ないし関連業務についての専門的知識、技能等を修得するため必要に応じて開催する。

2 特別研修は、受講者に対して受講料の負担を求めることができる。

(支部研修)

**第10条** 支部は、支部会員を対象に第9条に準じた研修を実施する。

2 研修には、研修内容によって会員の補助者の参加を認めることができる。ただし会則第101条の規定に基づき本会に届出のある補助者（以下「登録補助者」という。）に限るものとする。

### 第3章 新人研修

(入会時研修)

**第11条** 入会時において、調査士としての倫理、職責、本会の会則等会員としての心得を習得するために実施する。

2 入会時、境界鑑定講座受講申込をし、入会後に初めて開催される境界鑑定講座を受講するものとする。

なお、都合により未修了の場合は、境界鑑定講座修了証書を受領するまでを受講対象者とする。

(日本土地家屋調査士会連合会新人研修)

**第12条** 日本土地家屋調査士会連合会制定の土地家屋調査士研修制度基本要綱（以下「要綱」という。）並びに同新人研修実施要領（以下「要領」という。）に基づき日本土地家屋調査士会連合会が実施する。

2 日本土地家屋調査士会連合会新人研修は、要綱第5条第3項に定める者を受講対象者とする。

なお、都合により参加できなかった場合、日本土地家屋調査士会連合会新人研修に参加の上、修了証書を受領するまでを受講対象者とする。

3 欠席者への対応は、静岡県土地家屋調査士会における日本土地家屋調査士会連合会会則第67条第2項の指定する研修の欠席者に対する指導要領（以下「欠席者に対する指導要領」という。）に定める。

4 日本土地家屋調査士会連合会新人研修における受講料は、要領第18条の規定により受講者の負担とする。

(本会新人研修)

**第13条** 静岡県土地家屋調査士会新人研修委員会運営規程に基づき新人研修委員会が実施する。

2 受講対象者は、入会後2回の本会新人研修会を受講及び修了していない新入会員とする。

### 第4章 年次研修

(年次研修)

**第14条** 要綱第4条に基づき日本土地家屋調査士会連合会から委託を受け、土地家屋調査士年次研修実施要領に基づき本会が実施する。調査士としての専門家責任及び倫理の保持を図ることを目的として、一定の年次ごとに受講する研修とする。

2 指定する期間内に未修了の会員への対応は、別に定める欠席者に対する指導要領に定める。

### 第5章 役員等研修

(役員等研修)

**第15条** 任期満了による役員改選後、新役員が円滑に会の運営に参画するため、役員全員及び会長が必要と認める会員の研修を総会の終了後2か月以内に行う。

2 前項の研修は総務部が担当して行う。

## 第6章 補助者研修

(補助者研修)

**第16条** 新たに本会に届出がされた登録補助者を対象とし、必要に応じて実施することができる。

## 第7章 雑 則

(規則の改廃)

**第17条** この規則の改廃は、理事会の決議を要する。

### 附 則

- 1 平成15年11月29日制定, 平成16年4月1日施行
- 2 平成19年12月8日改正, 施行
- 3 平成21年12月5日改正, 施行
- 4 平成22年3月6日改正, 平成22年4月1日施行
- 5 平成23年3月11日改正, 施行
- 6 平成24年3月10日改正, 施行
- 7 平成26年6月14日改正, 施行
- 8 平成31年3月9日改正, 施行
- 9 令和3年4月17日改正, 施行

# 静岡県土地家屋調査士会研修実施要領

静岡県土地家屋調査士会（以下「本会」という。）は、静岡県土地家屋調査士会研修規則（以下「規則」という。）第3条第2項及び第4条第2項に基づき、研修を実施するための要領を次に定める。

## 第1 総 則

- 1 研修は、単位制により実施する（規則第3条第1項）ものとする。
- 2 研修の実施年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わるものとする。
- 3 この要領に定めるもののほか、研修を実施するために必要な事項及び各年度における内容の細目は、研修部が別に定めるものとする。

## 第2 単位制研修

- 1 単位制研修とは、研修の実効性と継続性を確保するため、本会会員が一定の年限において一定の単位が付与される研修をいう。
- 2 単位制研修における単位付与の対象となる研修は、次に掲げるものとする。
  - (1) 連合会、ブロック協議会及び本会が主催し、又はこれら相互間で共催する研修会若しくは通信研修
  - (2) 前号以外で、会長が単位付与の対象とすることを相当であると認定した支部研修会若しくは通信研修
- 3 単位付与は、別に定める単位付与に関する運用基準【別紙1】（以下「運用基準」という。）により実施するものとする。
- 4 取得を要する単位は5年度で80ポイント以上、1年度では8ポイント以上とし、そのうち、過半数の単位取得は、前記2.(1)に定める研修会又は通信研修への参加によるものとする。なお、年度の中途に入会した会員に対しては、次年度よりこ

れを適用するものとする。

- 5 単位制研修における単位の付与は、運用基準に基づき、会長がこれを行うものとする。
- 6 支部内で行う研修について単位制研修とする場合は、支部長より実施計画書を添えて単位制研修認定申請書（別紙第75号様式）を提出するものとする。

提出方法は郵送、FAX、E-mail等適宜の方法を用いることができる。

E-mailの場合は支部長印を省略することができる。

なお、支部研修会開催日の1週間前まで提出しない場合は単位制研修と認定しない。

- 7 前項の単位制研修認定申請書には土地家屋調査士専門職能継続学習（以下「土地家屋調査士CPD」という。）認定基準表別表コードを記載すること。

## 第3 研修記録等

- 1 本会は研修記録を年度ごとに調整し、管理するものとする。
- 2 本会は、前項の研修記録を調整するに際し、単位制研修に関しては前記第2の2.(1)に定める研修によって取得した単位と同第2の2.(2)に定める研修によって取得した単位とを区別して計算集計するものとする。
- 3 本会は、土地家屋調査士CPDに基づき集計された研修記録のうち次の情報を年度ごとに5年度分本会のホームページ等において公開できるものとする。
  - イ 会員名及び登録番号
  - ロ 年度ごとのポイント
  - ハ その他本会が相当と認めた事項
- 4 本会は、前項の公開情報に変更があったときは、

遅滞なくこれを更新する。

- 5 本会は、会員からの申し出により土地家屋調査士CPD研修履歴証明書（以下「証明書」という。）を発行することができる。
- 6 証明書及びその申請書の様式については、別紙3、別紙4による。
- 7 証明書の発行に要する費用は、1通につき500円とする。
- 8 本会は、証明書を発行したときは、その申請書及び証明書の写しを各1部保管する。
- 9 申請書、証明書の写し及び会員研修記録の保存期間は、研修会の実施年度から5年度が経過するまでとする。

#### 第4 その他

- 1 本会は自らが実施する研修会又は通信研修に他の土地家屋調査士会に所属する会員（以下「他会の会員」という。）が参加することを認めることとする。

なお、この場合本会は、参加する他会の会員より費用を徴収することができるものとする。
- 2 本会研修部は、会員研修の充実を図るため、研修教材の作成並びに講師養成及び派遣を行うものとする。
- 3 研修会の講師は、土地家屋調査士、学識経験者又は実務経験の豊富な者の中から、研修を実施する者が選任し、依頼するものとする。
- 4 この要領に定める研修のうち前記第2の2.(1)による研修会の講師の謝礼は、研修講師謝礼金支給基準【別紙2】によるものとする。

#### 第5 実施要領の改廃

この要領の改廃は、理事会の決議による。

#### 附 則

- 1 平成15年11月29日制定、平成16年4月1日施行
- 2 平成21年12月5日改正、施行
- 3 平成23年3月11日改正、施行
- 4 令和元年9月28日改正、施行

## 【別紙 1】

### 単位付与に関する運用基準

#### 第1 単位の取扱い

- 1 本会は、静岡県土地家屋調査士会研修実施要領（以下「実施要領」という。）第2の2.による通信研修を除く研修会を受講した会員に対して、次により単位を付与する。
  - (1) 研修時間60分間につき1ポイントとし、最小単位を30分間0.5ポイントとする
  - (2) 研修会に遅刻した会員及び研修会を中途退席した会員に対しては受講時間により単位を付与する
  - (3) 土地家屋調査士CPD認定基準表を準用する
- 2 実施要領第2の2. 通信研修とは、通信手段を用いて会員に研修課題等を配布伝達する方法によって実施する研修とし本会は、会員がこれを実施した者の指定する方法により当該研修を終えた場合、実施要領第2の2.(1)については実施する者において、同(2)については本会において、前項の取り扱いを基準として定めた単位をそれぞれ付与する。
- 3 本会は、実施要領第2の2.に定める単位付与の対象となる研修会において講義形式による研修の講師を務めた会員に対して、講義時間60分間につき3ポイントを付与する。複数のテーマを設定して行われる研修会について、これを受講する会員に対してテーマごとに前記1.(1)の基準を適用する。
- 4 本会は、実施要領第2の2.の研修を行うため、その研修課題等の作成に従事した会員に対し、前記2.により定めた単位と同一の単位を付与することができる。

#### 第2 単位付与の手続き

- 1 実施要領第2の2.(1)により行う研修のうち、次に掲げる研修に参加した会員の単位の付与については、当該会員の申請を要しないものとする。
  - (1) 本会が行う研修会又は通信研修
  - (2) 本会が連合会又はブロック協議会との共催により行う研修会又は通信研修
- 2 実施要領第2の2.(1)により行う研修のうち、次に掲げる研修に参加した会員の単位の付与については、これを実施した者からの当該会員の所属する土地家屋調査士会への報告によるものとし、当該会員の申請を要しないものとする。
  - (1) 連合会若しくはブロック協議会が行う研修会又は通信研修
  - (2) 他の土地家屋調査士会が行う研修会又は通信研修

## 【別紙2】

### 研修講師謝礼金支給基準

#### 第1(目的)

この基準は静岡県土地家屋調査士会研修規則(以下「規則」という。)第4条に基づき本会が行う研修(以下「研修」という。)に招請した講師に対する規則第6条に基づく謝礼金の支給に関し、その適切な運営を図るため、必要な事項を定めることを目的とする。

#### 第2(講師の定義)

この基準を適用する講師とは、研修を実施する者の依頼を受けて、研修において特定のテーマに関する一定時間の講義を行う者を指す。

#### 第3(謝礼金の金額)

- (1) 外部講師 金30万円以内
- (2) 土地家屋調査士会員 金10万円以内
- (3) その他 研修を実施する者の決定による

#### 第4(旅費の支給)

講師の住所から研修会場までの往復の旅費は、実費若しくは車代として、謝礼金とは別に支給する。なお、車代として支給する場合、その金額は研修を実施する者が決定する。



静岡県土地家屋調査士会 御中

## 土地家屋調査士ＣＰＤ学習履歴証明申請書

下記申請についての学習履歴証明書の発行を申請します。

記

申 請 日	年 月 日
申 請 者 情 報	土地家屋調査士登録番号：第 号 氏 名： 印 事務所 〒： TEL：
証明の希望期間	年度 ～ 年度
提出先	
必要通数	

※ 申請書は下記へ提出願います。

静岡県土地家屋調査士会 事務局ＣＰＤ担当者 宛

〒４２２-８００６ 静岡市駿河区曲金六丁目１６番１０号

TEL ０５４-２８２-０６００ FAX ０５４-２８２-０６５０

## 土地家屋調査士ＣＰＤ学習履歴証明書

所属土地家屋調査士会名 静岡県土地家屋調査士会  
 土地家屋調査士登録番号 第 号  
 氏 名  
 生 年 月 日 年 月 日生  
 事 務 所  
 証 明 期 間 年度 ～ 年度

上記の者に関する学習履歴を下記のとおり証明します。

年 月 日

静岡県土地家屋調査士会長 印

土地家屋調査士ＣＰＤの形態	種別	ポイント数	備 考
1 参加学習型	a 特別研修 b 講習会等 c 見学会 d e ラーニング		
2 情報提供型	h 講師 i 執筆 k 社会貢献		
3 自己学習型	r 専門誌等購読 S D V D 等の視聴		
4 その他	z		
計			